

校庭の桜の花が新入生の皆さんの入学を待っていたかのように、少しずつほころび始めています。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、心より歓迎いたします。本校での第一歩を踏み出すに当たり、一言お祝いの言葉を贈ります。

今から一五年前、皆さんはこの世に生を受けました。そのころ、レミオロメンの「粉雪」という曲が流行っていました。

「僕は君の全てなど知ってはいないだろ。それでも一億人から君を見つけたよ。」という歌詞があります。みなさんは、七十と四億くらいの人の中から、お母さんを選んで生まれてきました。そしてたくさんの方々の愛情を一身に受けて、今日の高校入学を迎えることができました。これまで支えてくださった方々への感謝の想いを忘れることなく、高校生活を送ってください。これから過ごされる一日一日が充実したものになるよう願ってやみません。

新入生の皆さん、「成功」の反対の意味の言葉は何だと思えますか。「成功」の反対は「失敗」ではありません。「失敗」は「成功」へのステップのひとつに過ぎません。先日の北京

オリンピックでは、カーリング女子日本代表のロコソラーレが銀メダルを獲得しました。予選リーグで苦戦の連続だった彼女たちは最終戦でも敗れました。何とか四位に滑り込んだものの、決勝トーナメントの初戦の相手は前日に日本に圧勝した世界王者のスイスでした。多くの人たちが、「たぶん勝つのは難しいだろう。」と予測する中、ロコソラーレのメンバーはたった一晩で回復します。そして大方の予想を覆してスイスに雪辱し、ついに日本代表史上初となる決勝進出を成し遂げたのです。「私たちの最大のアドバンテージは、予選を4位で通過し、どのチームよりミスも劣勢もたくさん経験していたことでした。」準決勝のあと、吉田知那美選手が語ったこの言葉はまさにこの「失敗」は「成功」へのステップであることを象徴しています。本来ならマイナス要素であるミスをプラスに変える考え方が勝利を引き寄せたのです。

「失敗」が「成功」の反対の言葉でないとしたら、「成功」の反対の意味の言葉は何でしょう。それは、挑戦しないことです。「失敗」を恐れずに、挑戦し続ける三年間であってほしいと願います。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学誠にめでとうございます。さまざまな制限の中での中学生生活ではあったと思います。高校時代は、多感で悩みも大きいからこそ、仲間と共に支え合い、深く考え、学んでいく人生の一時期です。大きな成長を願い、学校と保護者が同じ方向を向き、地域の協力を得ながら生徒達を支えていく必要があります。本校の教職員は、ここにいる新入生が、三年後、たくましく飛び立つ姿を夢見て、力を尽くします。どうか保護者の皆様におかれましても温かいご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

未来を担う人材を育てるといふ尊い使命を自覚し、入学生の方の皆さんの限りない可能性をお祝いし、式辞といたします。